

平成 18 年度第 2 回環境大気常時監視マニュアル改訂検討会議事要旨

1. 日時 平成 18 年 12 月 18 日 (月) 10:00~12:00
2. 場所 虎ノ門パストラルホテル 本館 8 階 会議室しらかば
3. 出席委員 坂本和彦 (委員長)、大久保彰人、島田光正、中野雅夫、西川雅高、平野耕一郎、三笠元、吉成晴彦
4. 議題 (1) 環境大気常時監視マニュアル改訂検討会第 1 回における委員指摘事項について
(2) 環境大気常時監視マニュアル改訂検討会第 1 作業部会における改訂案の報告
(3) 環境大気常時監視マニュアル改訂検討会第 2 作業部会における改訂案の報告
(4) 環境大気常時監視マニュアル改訂検討会第 3 作業部会における改訂案の報告
(5) 環境大気常時監視マニュアル第 1 章の改訂案について
(6) その他
5. 議事

事務局から、資料 2 により環境大気常時監視マニュアル改訂検討会第 1 回における委員指摘事項と対応状況について説明を行い、了承された。また、地方自治体によって、1 時間平均値の時間区切りが正時と半時 (30 分) に分かれており、統一に向けた検討が必要とのご意見があった。環境大気常時監視マニュアル第 1 作業部会兼任委員から、資料 3 により改訂案について報告が行われた。主な討議内容は次の通り。

- ・ 測定局の配置に関する現状の妥当性と今後のあり方
- ・ 湿式測定機の記述の簡略化を補完する方法
- ・ 測定機の状態を示す信号の有効活用

環境大気常時監視マニュアル第 2 作業部会兼任委員から、資料 4 により改訂案について報告が行われた。主な討議内容は次の通り。

- ・ 測定機の維持管理の内容と、作業部会相互の連携
- ・ 地方自治体が抱える予算、人員、技術力等に関する諸問題の深刻化
- ・ データ提供フォーマットの統一化の推進
- ・ 測定機の性能試験の実施方法、体制

環境大気常時監視マニュアル第 3 作業部会兼任委員から、資料 5 により改訂案について報告が行われた。主な討議内容は次の通り。

- ・ 常時監視システムのうち、汎用コンピュータを用いたものに関する記述の度合い
- ・ パソコンを用いたシステムに関する記述の重点化
- ・ マイナス値で出力される測定データの有用性
- ・ 測定機のデジタル出力に対するテレメータの対応

事務局から、資料 7 により環境大気常時監視マニュアル第 1 章改訂案について説明を行い、概ね了承された。

事務局から語句統一に関する説明を行った。

次回検討会は 2 月上旬を予定。

6. 本件に対する問い合わせ先

環境省水・大気環境局大気環境課 03 - 5521 - 8294

(株) 静環検査センター 054 - 288 - 8765

7. 配付資料

資料1 平成18年度環境大気常時監視マニュアル改訂検討会・作業部会委員名簿

資料2 環境大気常時監視マニュアル改訂検討会第1回における委員指摘事項について

資料3 環境大気常時監視マニュアル第1作業部会改訂の論点

資料4 環境大気常時監視マニュアル第2作業部会改訂の論点

資料5 環境大気常時監視マニュアル第3作業部会改訂の論点

資料6 環境大気常時監視マニュアル改訂の一覧表

資料7 環境大気常時監視マニュアル第1章改訂案

試料8 環境大気常時監視マニュアル改訂のスケジュール

<参考資料>

参考資料1 平成18年度第1回環境大気常時監視マニュアル改訂検討会議事要旨

参考資料2 環境大気常時監視マニュアル改訂の方向性(第1回検討会資料)

参考資料3 環境大気常時監視マニュアル改訂案の新旧対照表(委員限り)

<その他>

平成18年度環境大気常時監視マニュアル改訂検討会座席